



百田尚樹氏に問う

百田尚樹氏は、都知事選で田母神氏の応援演説に立ち、「南京大虐殺はなかった」「従軍慰安婦は強制ではなかった」と演説。公共放送の経営委員が選挙運動するとは報道の公正性が疑われる。百田氏の「永遠のゼロ」の映画化に取り組んだ朝日新聞の二月二〇日付け百田氏へのインタビューを読んだ。

南京大虐殺は朝日新聞の投書欄には、日本軍兵士として虐殺に立ち会った証言も載っていた。南京や上海にいた欧米の外交官の証言もある。これらも無視するのか？

強制は明白

もし、強制でないのなら、自由に慰安婦を辞めて帰れる筈。しかし、慰安所から自由に外出することすら許されなかった。性奴隷と云われる所以だ。

道を歩いていたら拉致されて慰安婦にされたとか、「大阪に良い仕事がある」と欺されて慰安婦にされたという証言は枚挙にいとまがない。

皆さんはどう思われますか？

大雪の後

横浜市南区永田南の谷戸

二〇一四年二月十六日



先週に引き続き、二月十四日夕刻から大雪となった。

雪が止み、雪かきを終えて、近くを歩いた。

昭和初期の地図を見ると、谷戸のあたりに人家がちらほらあるだけ。この絵の辺りには一、二軒の家しか見えない。周りは雑木林に畠。拙宅のある高台はそこが一九七〇年代に開発されたもの。

会社に勤めていた頃、駅までの道を歩くと、我が家の周辺に二、三十センチの雪が積もっていても、谷戸まで下りると数センチしかなかった。

家を出るとき北風の寒さについて厚着をして坂を下ると、その辺の人はそんなに厚着ではなかった。

尾根が北風を遮り谷戸は温かい。清水の湧く谷戸に家を構えたのは先人の知恵だろう。